

令和七年九月第四回人吉市議会定例会の開催に当たり、市政に対する所信の一端を申し上げる機会を与えていただきましたことに、心から厚くお礼を申し上げます。

この度の熊本県をはじめ各地を襲った記録的な大雨により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。一日も早く普段の生活が戻りますよう、復旧・復興を心からお祈り申し上げます。本市といたしましても、県内被災地支援の第一陣として、八月十八日から二十二日まで順次職員八名を天草市に、八月二十三日以降は上天草市、宇城市及び八代市に派遣し、家屋被害調査、罹災証明業務、被災者の健康管理など支援活動を行っているところです。令和二年七月豪雨災害を経験した私達だからこそできること、その経験を最大限に活かし、今後も被災地の皆様に寄り添い、復旧・復興への協力を続けてまいります。

近年は、予想を超える自然災害が全国各地で相次いでいます。こうした有事に備え、来る九月二十八日に人吉市総合防災訓練を実施します。大規模地震による土砂崩れや火災、道路やライフラインの途絶など複合的な被害を想定し、HUG（避難所運営）訓練や傷病者受入れ、安否確認、要支援者対応、防災講話などを行います。特に今回は、中学生・高校生にも防災ボランティアとして参加いただき、若い世代と共に防災意識向上を図ります。

次に、被災者支援の進捗状況につきまして、八月末現在の速報値ではございますが、調査済の三千二百七十七世帯のうち、再建完了により支援を終了した世帯が三千二百五十三世帯であり、支援済みの割合は九九・二六パーセントに達しております。多くの皆様が、災害による困難な状況を克服され、新たな生活を歩み始められたことに心から安堵しております。そのような中、豪雨災害後から今日まで、被災された皆様を支える拠点として大きな役割を担ってまいりました「人吉市地域支え合いセンター」は、皆様の生活再建が進んだことを受け、今年十月末をもちましてその活動を終了する運びとなりました。これまでに、センターでは、応急仮設住宅や災害公営住宅などへの巡回訪問、日常生活に関する相談や生活支援、孤立防止のための見守りや声かけ、住民同士の交流会の開催による地域参加の促進、関係機関へのつなぎなど支援を続けてまいりました。多くの方が順調に生活再建できましたのは、献身的な活動を行っていただいた生活支援相談員並びにセンターの運営にお力添えをいただいた皆様の御理解と御協力によるものです。改めて心から深く感謝申し上げます。

なお、センターの活動は終了しますが、見守りや生活に関する御相談は、引き続き社会福祉協議会が窓口となり、これまでと変わらず皆様に寄り添ってまいります。また、公共事業などにより、これから自宅再建が必要となる世帯の皆様におかれましては、引き続き熊本県と連携し、最後のお一人までしっかりと支援を継続してまいります。

次に、まちなかブランドデザイン推進アクションプランを踏まえた社会実験につきましては、実施期間を概ね十一月までとし、特に十月を重点期間と位置づけ、様々な取組を展開してまいります。城見庭園及び隣接する堤防道路を活用して、球磨川を眺望できるデッキや東屋を設置し、公共空間の有効活用の可能性を検証するほか、九月六日には、中川原公園で屋台やよさこい演舞、盆踊りなど家族で楽しめる「夜のピクニック」が開催予定です。また、九月十三日には、胸川沿いで川の安全な遊び方を学ぶ「みんなで学ぼう！ワク

ワク川遊び!」、十月十一日には、人吉城跡ふるさと歴史の広場で、人吉球磨初となる野外音楽フェス「Rural Act 25」、さらに翌十二日には中川原公園で、球磨焼酎二十七蔵の焼酎飲み比べなどが楽しめる「球磨焼酎オクトーバーフェスト」と、飲食店や遊び場が集う「球磨川マルシェ」が開催予定です。

今後もし引き続き、関係機関や地域の皆様と連携を深め、アクションプランの実現に向けて市民の皆様との合意形成に努めてまいります。

次に、球磨川水系流域治水プロジェクトの一つとして計画されている中神地区遊水地につきましては、これまで国による設計や用地取得に関する協議・調整などを進められてきたところです。地権者の皆様の御協力により、事業に必要な用地取得が進捗し、着工に向けた状況が整ってまいりました。これらの状況を踏まえまして、中神地区において遊水地工事に着手されます。これに先立ち、来る九月十四日に国、県、市の共催による着工式を執り行います。本市といたしましても引き続き球磨川水系流域治水プロジェクトを全力で推し進めてまいります。

令和二年七月豪雨による甚大な被害を受け、国の権限代行による復旧工事を行っております。天狗橋につきましては、関係機関の御尽力と地域の皆様の御理解のもと、工事最終盤を迎えており、塗り替えられた真新しい姿が見られるようになりました。今後は舗装工事や高欄工事などを経て、年度内には開通する見通しです。

また、鋭意進めております避難路整備につきましては、地権者並びに関係者の皆様の御協力により必要な事業用地の確保も進んでおり、今後は第一期路線の工事が本格化してまいります。工事期間中は、近隣の方々をはじめ市民の皆様には御迷惑をおかけしますが、御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

次に、子ども及び子育て世帯への支援でございます。

義務教育段階において不登校で進路未決定のまま卒業を迎える生徒や、高校進学後に中途退学が懸念される生徒、あるいは定時制や通信制高校に通いながら働く必要がある子どもとその保護者などに対して、社会とのつながりを絶やさないための適切な支援が求められています。この支援は、家庭への引きこもりによる社会からの孤立や、将来の若年無業者になる可能性を低減するとともに、地域社会の支え手や産業の担い手を育成することを目的としています。そのため、学校や教育委員会、若者サポートステーションやつしとの連携を強化し、社会的・職業的自立に向けた居場所の提供や、専門職による、いわゆるアウトリーチ型の支援を行い、義務教育卒業後も切れ目のない重層的な支援体制を整備してまいります。

学校給食関係でございますが、私が市長就任当初から公約に掲げてまいりました市内小中学校の学校給食費完全無償化につきまして、令和八年度からの実施に向け準備を進めます。給食費の無償化につきましては、これまで、物価高騰が続く厳しい状況の中、子育て世帯の皆様が直面する経済的な御負担を少しでも軽減したいという一心で、国への働きかけや、市独自にも、納期一期当たり千円の助成、さらには給食費単価の増額改定分を市が負担するなど、段階的な支援策を進めてまいりました。今回、完全無償化を実施すること

で、保護者の皆様の経済的負担軽減を図ります。また、地域として未来を担う子どもたちを安心して産み育てる環境づくりにつなげてまいります。

次に、人吉市カルチャーパレス大ホールにつきましては、令和二年度に実施した特定天井耐震調査において既存不適格との指摘を受け、令和三年四月以降、施設利用を休止してまいりました。その後、市民の皆様からの早期再開の御要望、市議会における改修に関する陳情の趣旨採択を受け、改修費用等に関する調査を行いましたところ、この度、大ホールを再開するに当たり、安全面や運営上必要となる最低限の改修に係る経費として、約六億四千万円を要するとの試算が提示されました。今回の調査結果を踏まえ、今後はカルチャーパレスの改修あるいは建替えについて、スピード感をもって検討を進める必要があると考えております。このため、市の関係部署で構成するプロジェクトチームを設置し、多角的な検証を行うことで、今年度中を目途に方向性を決定してまいります。

環境対策関係でございますが、これまで燃えるごみとして扱っていたプラスチック類の分別収集を、十月から市内全域で本格的に実施します。併せて、集積所の混雑を防ぐため収集日程を見直すほか、利便性や市民の皆様の負担軽減の観点から、資源ごみについては指定袋以外の袋でも出せるようルールを改めます。なお、資源ごみ指定袋については、令和八年三月末をもって廃止する方向で準備を進めております。

一方、家庭ごみの中でも特に大きな割合を占める生ごみの減量については、喫緊の課題と認識しております。現在、住民説明会において生ごみ処理機による減量効果や、市の補助制度の活用について説明し、減量を促しております。また、これまでも様々な取組を行ってまいりましたが、生ごみの減量は、地域の環境負荷を軽減し、次世代に責任を果たすうえでも、多角的なアプローチが求められる課題です。今後、この重要な課題の解決を目指し、より効果的で持続可能な方策を幅広く検討してまいります。

物価高騰対策でございますが、現在、球磨焼酎を製造する各蔵元においては、米価の高騰により原料米の確保が困難となり、経営が大変厳しくなっております。球磨焼酎の存続に関わる状況となっていることから、蔵元の原料米購入に対する支援を行うこととします。古来より、先人たちが守り育んできた人吉球磨の焼酎産業と独自の文化の継承に、今後とも努めてまいります。

農業関係でございますが、去る八月二十六日、全国十六の自治体による「コメがつなぐ自治体間農業連携首長協議会」設立に向けた首長会議が開催されました。会議では、生産地の高齢化や後継者不足、耕作放棄地、鳥獣被害といった課題、また消費地での物価高騰や食の安定確保などについて意見が交わされました。本市としましても、このネットワークを通じた新たな販路拡大や情報共有により、農業者の皆様の収益と意欲の向上につなげたいと考えております。

農業は、私たちの暮らしを根底から支える基盤産業です。生産地と消費地が互いを理解し合い向き合うことが、持続可能な流通と食の安定につながるものと確信しております。今後は、自治体が連携して消費地のニーズをしっかりと生産現場に反映させることで、需給の安定とともに、農業者の皆様が将来に希望を持って取り組める環境の実現を目指し

てまいります。

林業関係でございますが、ヒノキはスギと比較して活着までに時間を要し、鳥獣被害を受けやすいため、植林が避けられる傾向が顕著です。熊本県下でヒノキの一大産地である人吉球磨地域において、人工林の樹種バランスの偏りが懸念されており、次世代の森林づくりを考える上で対策が求められております。そこで、ヒノキの植林を推進するために「人吉市次世代の森林づくり対策事業補助金」を創設します。この取組を契機に、熊本県や球磨郡の町村との連携を模索しながら、ヒノキの植林を通じた林業振興を進めてまいります。

次に、毎年二月に開催しておりました「ひとよし温泉マラソン」は、熊本城マラソンとの同時期開催を避け、より多くのランナーの皆様に御参加いただけるよう、一月二十五日に開催します。前回の開催について寄せられた多くの御意見、御提言を参考に、参加記念品や温泉入浴券、食事券を提供するなど、参加者の満足度にも配慮した内容を計画しております。また、安全確保の観点からコースを一部見直し、種目もハーフ、十キロ、三キロ、二キロとします。参加者数は、前回大会の定員を上回る三千人を目標に、本市の魅力と温かいおもてなしを体感いただけるイベントを目指します。現在、実行委員会をはじめ多くの関係者や関係機関の御協力を得ながら鋭意準備を進めておりますので、多くの皆様の御参加を心からお待ちしております。